



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

RECEIVED

In re application of

AUG 31 2001

Yasuhiro FUKUDA

Technology Center 2100

Appln. No.: 09/899,988

Group Art Unit: 2152

Confirmation No.: 5162

Examiner: Unknown

Filed: July 9, 2001

For: **METHOD AND SYSTEM FOR PROVIDING NETWORK HOME DELIVERY SERVICE, AND STORAGE MEDIUM STORING A PROGRAM FOR EXECUTING THE METHOD**

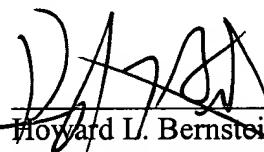
SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of the priority document on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority document.

Respectfully submitted,


Howard L. Bernstein
Registration No. 25,665

SUGHRUE, MION, ZINN,
MACPEAK & SEAS, PLLC
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20037-3213
Telephone: (202) 293-7060
Facsimile: (202) 293-7860

Enclosures: Japanese 2000-211869

Date: August 29, 2001



本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

Y. Fukuda
09/899,988
Filed 7/9/01
Q65356
10f1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年 7月12日

出願番号
Application Number:

特願2000-211869

RECEIVED

AUG 31 2001

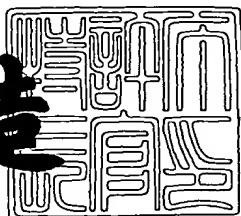
出願人
Applicant(s):

エヌイーシーロジスティクス株式会社

Technology Center 2100

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



2001年 6月20日

出証番号 出証特2001-3057905

【書類名】 特許願

【整理番号】 12000042

【提出日】 平成12年 7月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 ネット宅配サービスのための方法ならびにそのシステム
及び同方法がプログラムされ記録された記録媒体

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目37番8号 エヌイーシーロジスティクス株式会社内

【氏名】 福田 恭久

【特許出願人】

【識別番号】 390002060

【氏名又は名称】 エヌイーシーロジスティクス株式会社

【代理人】

【識別番号】 100108578

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 詔男

【代理人】

【識別番号】 100064908

【弁理士】

【氏名又は名称】 志賀 正武

【選任した代理人】

【識別番号】 100101465

【弁理士】

【氏名又は名称】 青山 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100108453

【弁理士】

【氏名又は名称】 村山 靖彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008707

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9901667

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネット宅配サービスのための方法ならびにそのシステム及び同方法がプログラムされ記録された記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 顧客である送り主と受取人が持つ端末装置と、宅配業者が持つホストコンピュータが通信ネットワーク回線経由で接続されて成るネット宅配サービスシステムに用いられ、

送り主から荷物の宅配の依頼を前記通信ネットワーク回線経由で受けてその集荷を行い、

受取人に前記荷物の情報を前記通信ネットワーク回線経由で送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯の指示を促し、前記指示された時間帯に前記集荷した荷物の配送を行なうことを特徴とするネット宅配サービスのための方法。

【請求項2】 送り主により、受取人情報を含む荷物の発注情報を入力される端末装置と、

前記発注情報を通信ネットワーク回線経由で受信してその集荷を指示し、受取人に対し、前記荷物の情報を前記通信ネットワーク回線経由で送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯の指示を促し、前記指示された時間帯に前記集荷した荷物の配送の指示を行なうホストコンピュータと、

受取人により前記集荷された荷物の配送希望時間帯情報を入力される端末装置とがそれぞれ前記通信ネットワーク回線経由で接続されることを特徴とするネット宅配サービスシステム。

【請求項3】 顧客である送り主と受取人が持つ端末装置と、宅配業者が持つホストコンピュータとが通信ネットワーク回線経由で接続されて成るネット宅配サービスシステムに用いられるネット宅配サービスプログラムであって、前記ネット宅配サービスプログラムは、

送り主から、少なくとも、荷物の種類と、郵便番号・住所・氏名を含む、送り主、受取人情報を含む発注情報を受信するステップと、

前記発注情報に基づき、受取人へお届け情報を送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯情報を入力を促すステップと、

受取人から前記入力された配送希望時間帯情報を受信するステップと、前記荷物の配送完了通知を受信して送り主へ配送完了情報を送信するステップとを有することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項4】 前記発注情報を受信するステップは、送り主に、集荷の希望時間帯選択指示を促すステップを含み、更に、郵便番号毎に集荷できるまでのリードタイムを設定し、現在時刻から集荷最短可能時間を計算して集荷のスケジューリングを行なうことを特徴とする請求項3に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項5】 前記配送希望時間帯情報を受信するステップは、更に、集荷先郵便番号と配達先郵便番号との組み合わせ毎に配送リードタイムを設定し、現在時刻から配送最短可能時間を計算して配送のスケジューリングを行なうステップを含むことを特徴とする請求項3に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネット宅配サービスのための方法ならびにそのシステム及び同方法がプログラムされ記録された記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の宅配システムは、送り主が宅配業者の販売店まで荷物を持ち込み、手書きで送付伝票を作成することによってはじめて機能していた。宅配の依頼を受けた荷物は、定期的に販売店に出入りする宅配業者によって集荷され、配送される。

一方、受取人は、荷物が配送されることを事前に知らされておらず、荷物情報は送り主のみ入手可能であり、受取人は、不在時に配達された場合のみ、配達希望時間を指定することができた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように、従来の宅配システムによれば、送り主は、手書き伝票作成の手間、販売店への荷物の持ち込みの手間を要し、また、受取人は、荷物情報を事前に入手することがなかったため、突然の配達への対応を必要としていた。

また、販売店においても、持ち込まれた荷物の計量、チェック、料金受領等の対応を要し、更に、宅配業者においても受取人が不在の時に再配達する必要があり、かならずしも効率のよいシステムにはなっていなかった。

【0004】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、送り主からインターネット等通信ネットワーク上で宅配の注文を受けて集荷に回り、受取人に電子メールを配信すると共に配達希望時間を指定してもらい配送を行なうことにより、顧客となる送り主、受取人両者に対するC S (顧客満足度: Customer Satisfaction) の向上をはかり、両者の負担を軽減すると共に、販売店の経費削減をはかり、かつ、受取人の不在率を削減することによるコストダウンをはかったネット宅配サービスのための方法ならびにそのシステム及び同方法がプログラムされ記録された記録媒体を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記した課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、顧客である送り主と受取人が持つ端末装置と、宅配業者が持つホストコンピュータが通信ネットワーク回線経由で接続されて成るネット宅配サービスシステムに用いられ、送り主から荷物の宅配の依頼を通信ネットワーク回線経由で受けてその集荷を行い、受取人に前記荷物の情報を前記通信ネットワーク回線経由で送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯の指示を促し、前記指示された時間帯に前記集荷した荷物の配送を行なうこととした。

このことにより、宅配業者は、送り主から通信ネットワーク上で宅配の注文を受けて集荷に回り、受取人に荷物情報を配信すると共に配達希望時間を指定してもらい配送を行なうことにより、顧客となる送り主、受取人双方のC S 向上がはかれ、両者の負担が軽減されると共に、販売店の経費削減もはかれ、かつ、受取人の不在率を削減することによるコストダウンがはかる。

【0006】

請求項2に記載の発明は、送り主により、受取人情報を含む荷物の発注情報が入力される端末装置と、前記発注情報を通信ネットワーク回線経由で受信してその集荷を指示し、受取人に対し、前記荷物の情報を前記通信ネットワーク回線経由で送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯の指示を促し、前記指示された時間帯に前記集荷した荷物の配送の指示を行なうホストコンピュータと、受取人により前記集荷された荷物の配送希望時間帯情報が入力される端末装置とがそれぞれ前記通信ネットワーク回線経由で接続されることとした。

上記構成により、送り主が端末装置を用いて通信ネットワーク回線経由で集荷時間帯を指定したうえで宅配発注を行い、その発注を受けた宅配業者はホストコンピュータを介して指示を行い荷物の集荷に伺わせると共に受取人に対して荷物情報を送信し、受取人は端末装置を介して配達希望時間帯を連絡することにより、宅配業者はホストコンピュータを介して指示することにより荷物の配達を行なうものであり、このことにより、送り主は荷物を販売店に持ち込む必要がなくなり、また、伝票作成の手間も省け、負担が軽減されると共に、送り主に対するC Sを向上させることができ、販売店の経費削減もはかれ、更に、受取人に配達希望時間を確認するため、受取人に対してもC Sの向上がはかれ、不在の頻度が減ることによる宅配業者の経費も削減したネット宅配サービスシステムを提供することができる。

【0007】

請求項3に記載の発明は、顧客である送り主と受取人が持つ端末装置と、宅配業者が持つホストコンピュータが通信ネットワーク回線経由で接続されるネット宅配サービスシステムに用いられるネット宅配サービスプログラムであって、前記ネット宅配サービスプログラムは、送り主から、少なくとも、荷物の種類と、郵便番号・住所・氏名を含む、送り主、受取人情報から成る発注情報を受信するステップと、前記発注情報に基づき受取人へお届け情報を送信すると共に、前記荷物の配送希望時間帯情報の入力を促すステップと、受取人から前記入力された配送希望時間帯情報を受信するステップと、前記荷物の配送完了通知を受信して送り主へ配送完了情報を送信するステップとを有することとした。

上記したネット宅配サービスプログラムを実行することにより、宅配業者は、送り主から通信ネットワーク上で宅配の注文を受けて集荷に回り、受取人に荷物情報を配信すると共に配達希望時間を指定してもらい配送を行なうことができ、このことにより、顧客となる送り主、受取人双方のCS向上がはかれ、両者の負担が軽減されると共に、販売店の経費削減もはかれ、かつ、受取人の不在率を削減することによるコストダウンがはかる。

【0008】

請求項4に記載の発明は、請求項3に記載の記録媒体において、前記発注情報を受信するステップは、送り主に、集荷の希望時間帯選択指示を促すステップを含み、更に、郵便番号毎に集荷できるまでのリードタイムを設定し、現在時刻から集荷最短可能時間を計算して集荷のスケジューリングを行なうこととした。また、請求項5に記載の発明は、請求項3に記載の記録媒体において、前記配送希望時間帯情報を受信するステップは、更に、集荷先郵便番号と配達先郵便番号との組み合わせ毎に配送リードタイムを設定し、現在時刻から配送最短可能時間を計算して配送のスケジューリングを行なうステップを含むこととした。

このことにより、集荷時間、配達時間の決定に、それぞれ、送り主、受取人の希望が反映されると共に、入力される郵便番号に基づいて、集荷、あるいは配達のためのリードタイムが設定され、現在時刻から集荷、配達の最短可能時間を計算して最適な時間帯が設定されるため、CS向上に寄与すると共に、効率のよいシステム構築を可能とすることができます。

【0009】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明におけるネット宅配システムのシステム構成を示す図である。図において、1は宅配業者が持つホストコンピュータである。2、3は、顧客となる荷物の送り主、受取人が持つインターネットに接続可能な携帯電話、PDA (Personal Digital Assistants) 等パーソナルコンピュータであり、ホストコンピュータ1とはインターネット回線網4を介して接続される。

また、5は荷物の運送媒体であり、ここではトラックが示されている。トラックの運転者もまた、ホストコンピュータ1とデータ交換を行なうためにインターネ

ット接続可能な携帯電話、あるいはPHSを持つものとする。

【0010】

図2は、図1におけるホストコンピュータ1の内部構成を示すブロック図である。

ホストコンピュータ1は、CPU11を制御中枢とし、主記憶装置(MMU)12、大容量記憶装置(HDD)13、キーボードディスプレイ装置(KB/CRT)14、TCP/IP(Transport Control Protocol/Internet Protocol)15がアドレス、データ、コントロールのためのラインが複数本で構成されるシステムバス6を介して共通接続される。

大容量記憶装置13には、郵便番号、電話番号、住所、氏名等から成る顧客情報がデータベースとして構築されており、必要に応じて主記憶装置2に割り付けられるネット宅配サービスプログラムによって参照される。TCP/IPインターフェース5は、インターネット回線網4に接続してデータ交換を行なうときの通信制御を司る。

【0011】

図3は、本発明のネット宅配サービスのための方法を実践するときの宅配業者による業務の流れを示した図である。

図3において、まず、宅配業者は、インターネット回線網4経由で送り主から発注情報が入力される(ステップS31)ことにより、トラック等で集荷に回り(ステップS32)、集荷後、インターネット回線網4を介して宅配業者から受取人に対して電子メールでお届け予定情報を送信する(ステップS33)。

宅配業者は、お届け予定情報と共に受取人に対して配達希望時間帯の入力を促し、受取人からの入力を待ってその時間帯に集荷した荷物の配達を行なう(ステップS34、S35)。同時に、送り主に対して電子メールで配達完了情報を送信する(ステップS36)。

【0012】

図4乃至図9は、いずれもネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、発注情報送信処理、顧客情報入力処理、集荷先入力処理、配達予定情報送信処理、配達希望時間入力処理、配達完了情報送信処理の

それぞれが示されている。

なお、フローチャートの理解を助ける意味で、各ステップに対応して端末装置2(3)が持つディスプレイの画面展開した図も合わせて示してある。ここでは、端末装置として8文字×7行の表示画面容量を持つ携帯電を例示している。

【0013】

まず、図4を参照しながら発注情報送信処理から説明する。

はじめに新規の顧客か否かがチェックされ(ステップS41)、新規の顧客であった場合には、電話番号、氏名の入力を促し、会員登録が行なわれる。会員登録は、図5に示す顧客情報入力処理に委ねる。

新規の顧客でない場合は、電話番号、パスワード登録が済んでいるか否かのチェックが行われ(ステップS42)、未済の場合はステップS41の処理に戻り、済んでいた場合は、登録データの確認が行なわれる(ステップS43)。集荷先と登録データが異なっていた場合は、ディスプレイ画面中、「違う」鈍をクリックすることにより図6に示す集荷先入力処理に委ね、同じ場合は、「同じ」鈍をクリックすることにより集荷時間選択のための処理に移る(ステップS44)

【0014】

ここでは、サービス時間帯が表示され、送り主に対しそのなかから集荷を希望する時間帯を選択させるものとする。集荷時間は、図10(a)にテーブルとして示すように、集荷先の郵便番号毎に集荷できるまでのリードタイムを設定し、現在時刻から集荷最短可能時間を計算することにより求められる。

【0015】

次に、送り主に受取人の郵便番号入力を促し(ステップS45)、その郵便番号の入力を待って郵便番号の確認を行なう(ステップS46)。そして、その郵便番号に対応する住所の表示がなされ(ステップS47)、続く番地等の住所、氏名、電話番号等の入力を促す(ステップS48)。

次に、入力完了を確認(ステップS49)して問い合わせ番号を表示し(ステップS50)、集荷指示を行なう。

【0016】

図5に示す顧客情報入力処理において、まず、送り主に郵便番号入力を促す（ステップS51）。そして、入力された郵便番号を確認し対応する住所表示を行う（ステップS52、S53）。次に、表示された住所に続く番地等住所の入力ならびに氏名、電話番号等の入力を促し、更にパスワード入力も促す（ステップS54、S55）。ここでパスワードチェックがなされ、成功した場合に図4に示すステップS43の登録データの選択処理に進む。

【0017】

図6に示す集荷先入力処理において、まず、送り主に対し、集荷先の郵便番号入力を促す（ステップS61）。そして、入力された郵便番号の確認を行い（ステップS62）、その郵便番号に対応する住所の表示がなされる（ステップS63）。次に、表示された住所に続く番地等住所の入力ならびに氏名、電話番号等の入力を促し（ステップS64）、入力完了の確認を行い、図4に示すステップS44の集荷時間選択処理へ進む。

【0018】

図7に示す配達予定時間情報送信処理において、まず、集荷完了を確認し（ステップS71）、携帯電話、PHSを持つ顧客に対して配達予定情報の送信を行なう（ステップS72、S73）。

配達予定情報は、図中、画面表示例として示す通りであり、この配達予定日時は、図10（b）にテーブルとして示すように、集荷先郵便番号と配達先郵便番号の組み合わせ毎に配送リードタイムを設定し、現在時刻から集荷可能時間を計算することによって求められる。

なお、ディスプレイ表示画面に、配送時間の修正可能日限が示されており、この範囲内で受取人から配送予定日時の修正要求があった場合は受け付け、配送指示を行なう（ステップS74）。

【0019】

図8の配送希望時間入力処理において、まず、受取人に対し、問い合わせ番号、電話番号入力を促す（ステップS81）。そして、入力確認を行い（ステップS82）、更に、配達時間変更が可能か否かがチェックされる（ステップS83）。

ここで、変更が不可の場合、既に配送指示が出ており、変更が利かない旨ディスプレイ表示画面にメッセージ表示がなされる。また、変更が可能な場合、配達希望時間帯の選択が行なわれる（ステップS84）。ここでは、0-7時は配達時に追加料金が必要となっており、確認後、配達時間修正が行なわれる。また、0-7時以外は直接配達時間修正が行なわれる（ステップS85）。

【0020】

図9の配達完了情報送信処理において、配達の完了を確認した後（ステップS9.1）、配達完了情報送信がなされ、これを受信した端末装置2（3）のディスプレイ表示画面上に、配達完了日時と、問い合わせ番号と配達先の表示がなされる。

【0021】

【発明の効果】

以上説明のように、本発明のネット宅配サービスのための方法ならびにそのシステム及び同方法がプログラムされ記録された記録媒体は、顧客である送り主がインターネット等通信ネットワーク回線経由で集荷時間帯を指定したうえで宅配発注を行い、その発注を受けた宅配業者がトラック等に指示を行い荷物の集荷に伺わせると共に、そのトラックは受取人に対して荷物情報を送信し、そして、受取人は配達希望時間帯を連絡し、宅配業者は、トラックに指示を入れ、荷物の配達を行なうものである。

このことにより、送り主は荷物を販売店に持ち込む必要がなくなり、また、伝票作成の手間も省け、負担が軽減されると共に送り主に対するCSを向上させることができ、販売店の経費削減もはかれる。更に、受取人に配達希望時間を確認するため、受取人に対してもCSの向上がはかれ、不在の頻度が減ることによる宅配業者の経費も削減できる。また、通い箱を使用することによる段ボール箱の破棄を削減したり、電子決済も可能になる等派生的効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明におけるネット宅配システムのシステム構成を示す図である。

【図2】 図1におけるホストコンピュータの内部構成を示すブロック図で

ある。

【図3】 本発明のネット宅配サービスのための方法を実践するときの業務の流れを示した図である。

【図4】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、発注情報送信処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

【図5】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、顧客情報入力処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

【図6】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、集荷先入力処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

【図7】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、配達予定情報送信処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

【図8】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、配達希望時間入力処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

【図9】 ネット宅配サービスプログラムの処理手順をフローチャートで示した図であり、配達完了情報送信処理部分をディスプレイ表示画面と共に抽出して示した図である。

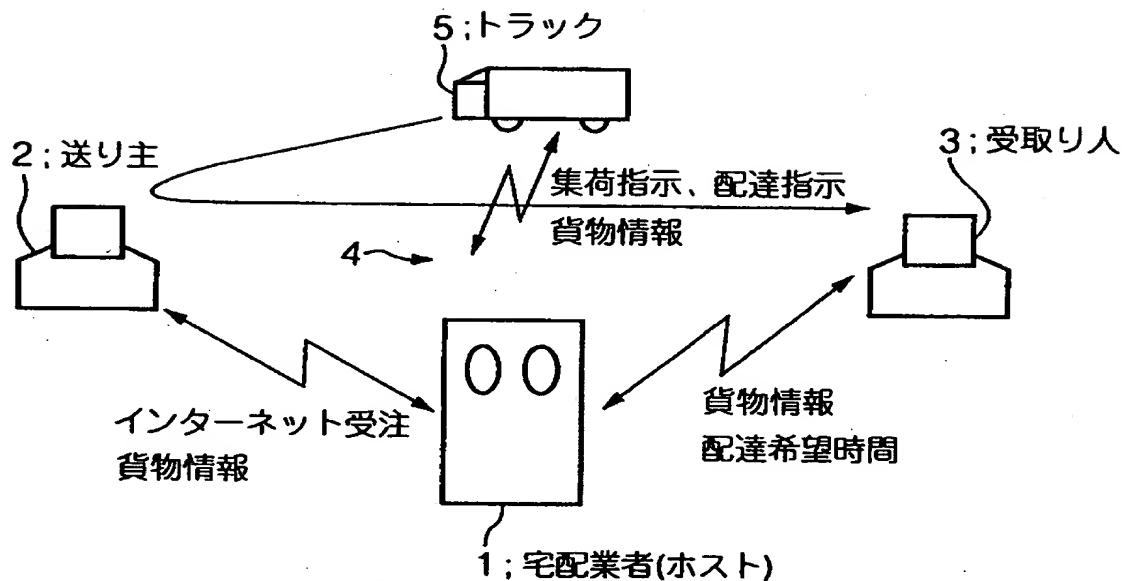
【図10】 本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、集荷、配達のための時間計算の仕方を説明するために引用した図である。

【符号の説明】

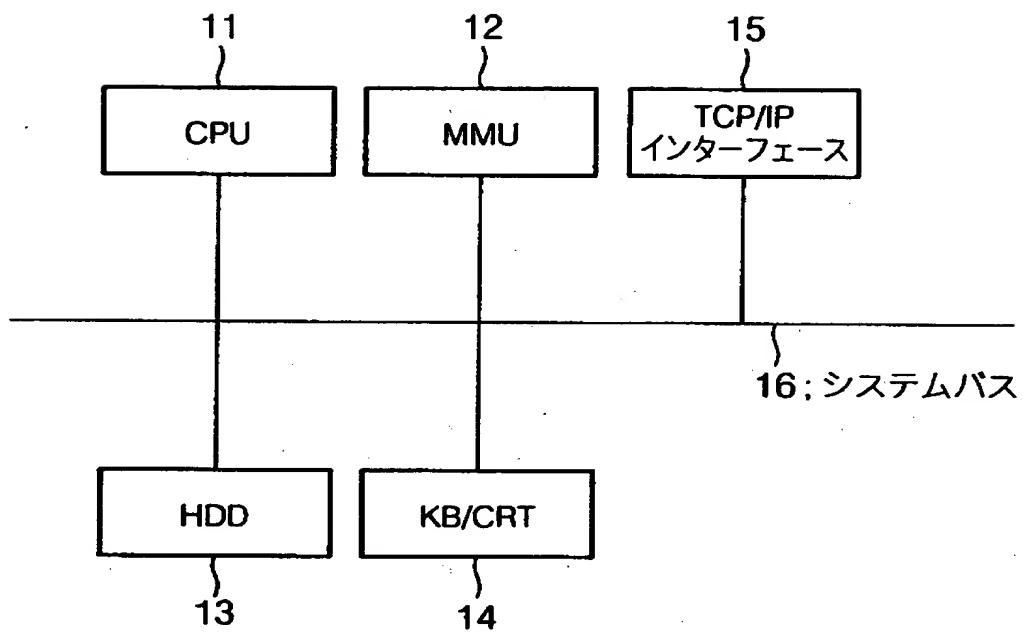
1…宅配業者ホストコンピュータ（ホストコンピュータ）、2…送り主端末装置（送り主）、3…受取人端末装置（受取り人）、4…通信ネットワーク回線（インターネット回線網）、5…トラック、11…CPU、12…主記憶装置（MMU）、13…大容量記憶装置（HDD）、14…キーボードディスプレイ（KB/CRT）、15…TCP/IPインターフェース、16…システムバス

【書類名】 図面

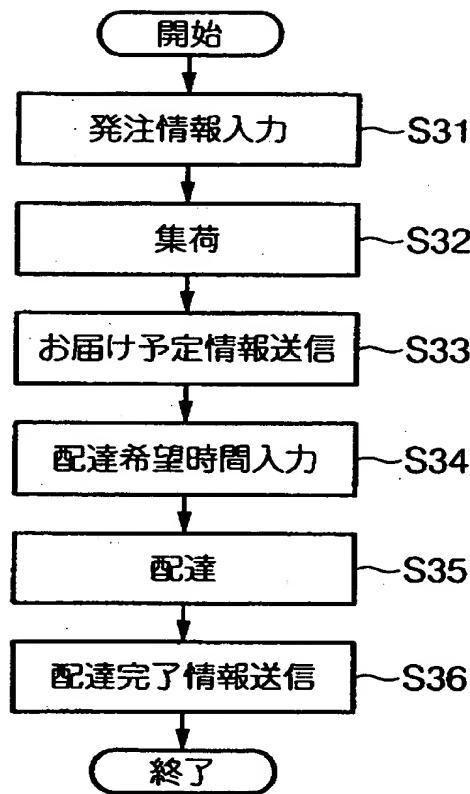
【図1】



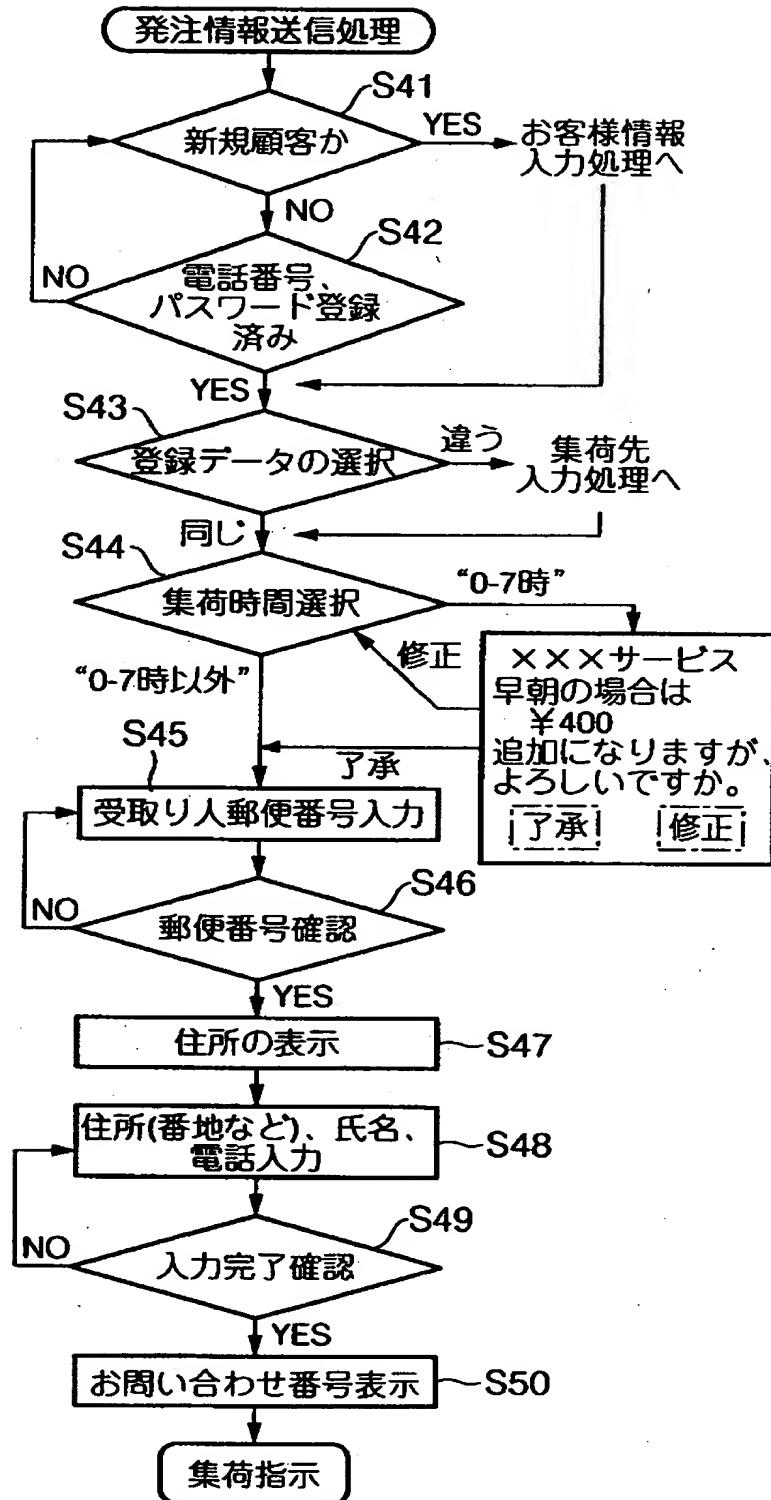
【図2】



【図3】



【図4】



×××サービス
会員登録(無料)
会員の方は
電話番号
パスワード

×××サービス
神奈川県横浜市
都筑市池部町
3-2
よこはま たろう
集荷先 同じ 違う

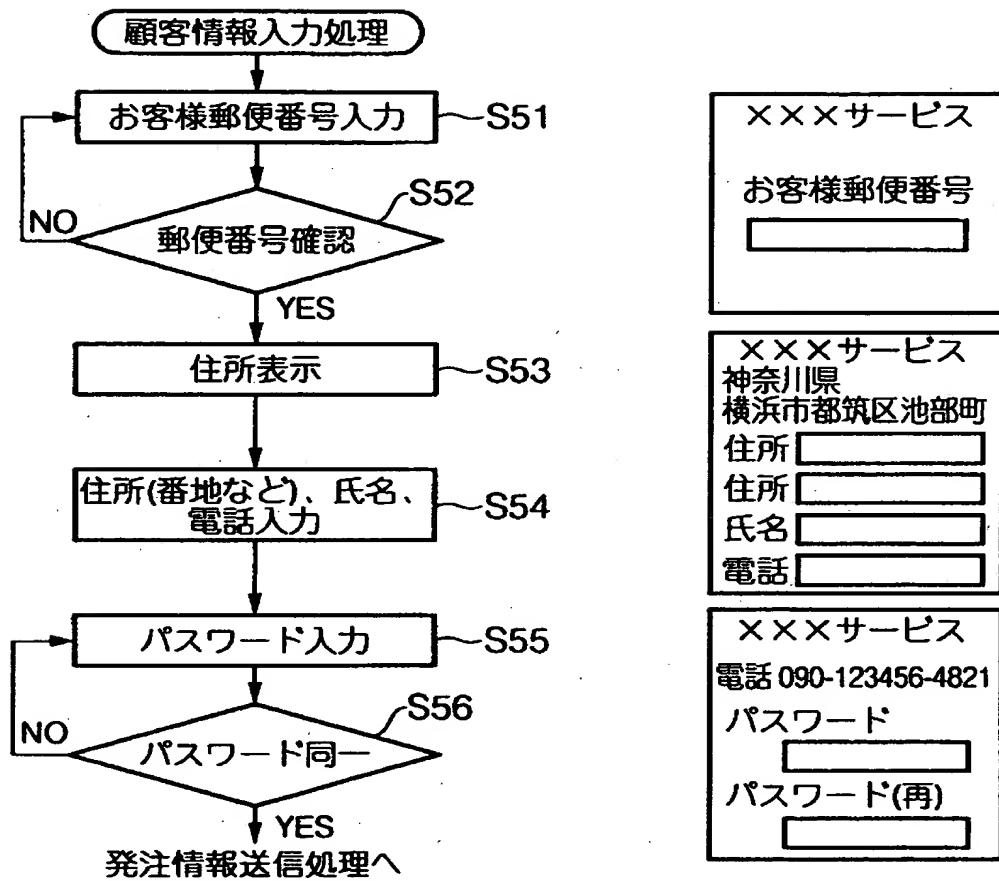
×××サービス
6/20 18-20時
6/20 20-22時
6/20 22-24時
特 6/21 00-02時

×××サービス
送り先郵便番号

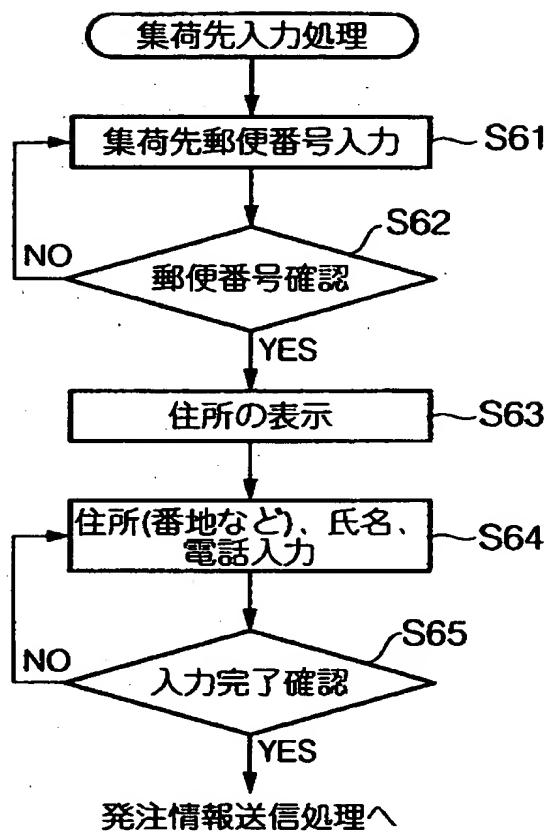
×××サービス
東京都港区芝
住所
住所
氏名
電話

×××サービス
お問い合わせ番号
1231-7840-9876
(3辺の計)
S(60cm) ¥520
M(70cm) ¥620
L(100cm) ¥820

【図5】

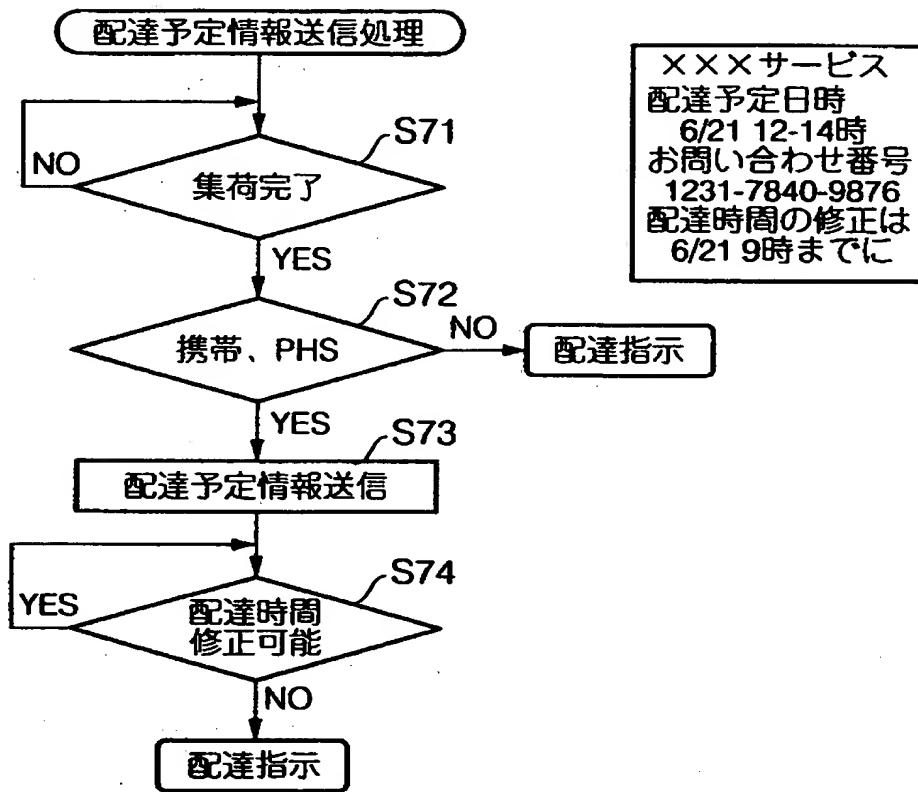


【図6】

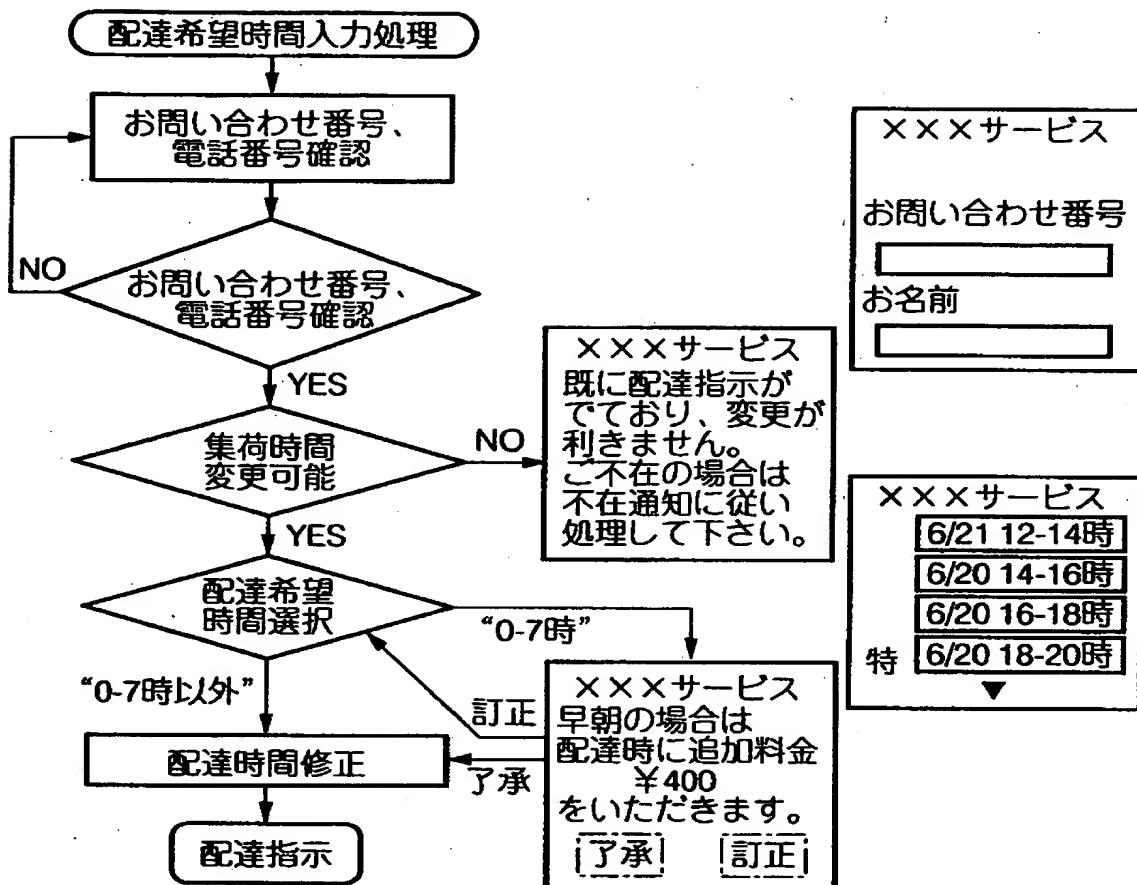


×××サービス
集荷先郵便番号
×××サービス
東京都港区芝
住所
住所
氏名
電話

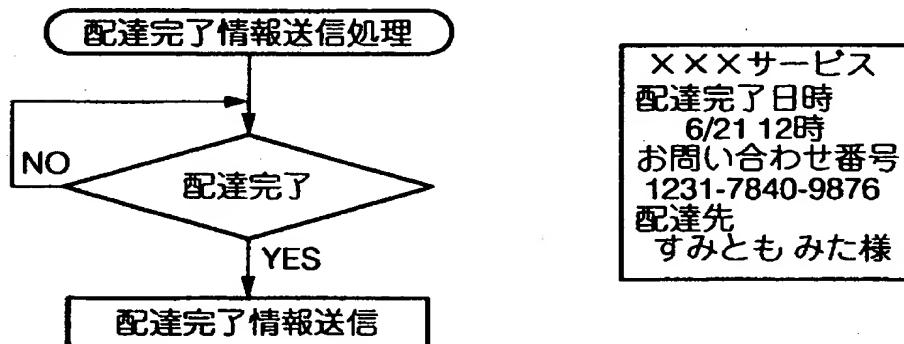
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

(a)

郵便番号	142-0042	018-5700	223-0142	
リードタイム	3	5	4	

(b)

郵便番号	142-0042	018-5700	223-0142	
142-0042	5	12		
018-5700	12	5		
223-0142				

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 顧客となる送り主、受取人双方のCSの向上をはかり、効率の良い宅配サービスを行なう。

【解決手段】 宅配業者は、送り主から荷物の宅配の依頼をインターネット等の通信ネットワーク回線経由で受けてその集荷を行い、受取人に荷物の情報を通信ネットワーク回線経由で送信すると共に、荷物の配送希望時間帯の指示を促し、受取人によって指示された時間帯に集荷した荷物の配送を行なう。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-211869
受付番号	50000881265
書類名	特許願
担当官	濱谷 よし子 1614
作成日	平成12年 7月19日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	390002060
【住所又は居所】	東京都港区芝五丁目37番8号
【氏名又は名称】	エヌイーシーロジスティクス株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100108578
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場3丁目23番3号 ORビル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	高橋 詔男
【代理人】	
【識別番号】	100064908
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場3丁目23番3号 ORビル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	志賀 正武
【選任した代理人】	
【識別番号】	100101465
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場3丁目23番3号 ORビル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	青山 正和
【選任した代理人】	
【識別番号】	100108453
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場3丁目23番3号 ORビル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	村山 靖彦

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [390002060]

1. 変更年月日 2000年 2月 9日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都港区芝五丁目37番8号

氏 名 エヌイーシーロジスティクス株式会社